

三七二七番

塵泥ちりひぢの数かずにもあらぬ 我故われゆゑに 思おもひわぶらむ  
妹いもがかなしさ

三七二八番

あをによし 奈良ならの大路おほちは 行き良よけど この山やま  
道みちは 行き悪あしかりけり

三七二九番

愛うるはしと 我あが思おもふ妹いもを 思おもひつつ 行ゆけばかもと  
な 行き悪あしかるらむ

三七三〇番

恐かしこみと 告のらずありしを み越路こしぢの 手向たむけに立たち  
て 妹いもが名告なりつ